令和８年８月６日

地域おこし協力隊インターンの初受入について

本市では、「フィールドワークのまち　ふじ」を目指す取組の一環として、学生自らが本市の魅力や課題を現場で体感し、フィールドワークのモデルコースの検討や新たなテーマの掘り起こしを行うため、地域おこし協力隊インターンとして活動する大学生を募集しています。

このたび、首都圏在住の大学生から応募があり、「地域おこし協力隊インターン」として初めて受け入れることとしました。

記

１　地域おこし協力隊インターンの目的

本市は「フィールドワークのまち　ふじ」を目指しています。

フィールドワークを実施する場所としての富士市の魅力を向上させるためには、大学生自身が本市の魅力や課題を現場で体感し、フィールドワークのモデルコースの検討や、新たなテーマの掘り起こしを行うことが必要であると考え、今年度から地域おこし協力隊インターンを募集しています。

都市部の大学生など、地域との関わりに関心を寄せる若者が増えている中で、短期滞在の体験とは異なる関わり方として、地域おこし協力隊インターン制度を活用することにしました。

２　活動内容

次のいずれかの活動を行います。

ア　「フィールドワークのまち　ふじ」の実現のため、市内企業及び大学にとってより魅力的な制度にするための改善策の提案

イ　「フィールドワークのまち　ふじ」の認知度向上に関する取組

ウ　このほか、富士市におけるフィールドワーク活動の誘致・推進に資する活動又は富士市において高等教育機関等と連携・協働する場の拡大に資する活動

３　初めての受入となる「地域おこし協力隊インターン」

⑴　インターン学生　東京海洋大学海洋生命科学部　２年
岡崎　稜（おかざき　りょう）氏

⑵　活動期間　８月１０日（月）から８月２３日（日）まで
【就任式】　と　き　８月１０日（月）１４時３０分から
ところ　市長応接室

⑶　主な活動テーマ及び内容
テーマ：田子の浦しらすの海業（うみぎょう）転換
内　容：海業の推進に向けたフィールドワークの新たなモデルコースの作成、受入れ先の開拓など

地域おこし協力隊インターン

地域おこし協力隊への参加や移住を検討する人が、一定期間、実際の地域で暮らしながら、地域協力活動を体験できる制度です。

「おためし地域おこし協力隊」よりも長い期間、地域おこし協力隊本隊と同等の活動に取り組み、仕事や生活、地域との関わり方を具体的にイメージできる点が特徴です。

本隊への着任前に、活動内容や受入体制を相互に確認できるため、ミスマッチの防止や円滑な着任につながります。地域にとっても、将来の担い手候補と出会い、関係を築く機会となります。

問合せ
総務部企画課　　担当　大石・遠藤
電話／0545-55-2718　内線 2826
FAX／0545-53-6669
e-mail／so-kikaku@div.city.fuji.shizuoka.jp